

(16) マイ箸

1 活動の目的、効果

(1) 体験活動上の効果


◎自主性・創意工夫 ○課題克服・達成感

(2) ESDの課題解決に必要な7つの能力・態度

⑥ つながりを尊重する態度

人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度

2 活動の詳細



概要 (セールスポイント)	箸の最適な長さは、親指の付け根から人差し指の先までの長さの1.5倍だそうです。 また、指が当たる部分は角がない方が使いやすく、箸の先の方は少し角があった方が食べ物をつかみやすいそうです。 自分で作った、マイサイズのお箸でご飯を食べてみてはいかがでしょうか。				
	実施形態	自主活動		提出書類	
諸条件	必要経費	特定研修活動実施経費(1人50円) +材料費(1人260円)		所要時間	1.5時間程度
	活動場所	研修室		対象・人数	小学校低学年以上 最大200人
	時期	通年	事前下見	不要	天候
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体に準備する物	
	・ナイフ ・糸のこ ・新聞紙 等			【参加者】	・筆記用具 等
役割分担	青少年交流の家職員が行うこと			団体の引率者が行うこと	
	1 道具の準備をし、引率者(担当者)への説明を行う(活動開始30分前までに) ① 貸出物品について ② 活動の進め方について ③ 安全管理について ④ 活動後の片づけについて 4 貸出物品を受け取る			1 交流の家職員から説明を受け、貸出物品を受け取る(活動開始30分前までに) 2 売店で材料を購入する 3 準備から片付けまでの指導を行う 4 貸出物品を返却する	

3 活動のふりかえりのポイント

視 点:「楽しんで、仲間と協力して活動することができたか。」

発問例:「出来上がった作品について、頑張ったこと、工夫したことなどを班で発表しましょう。班のメンバーは、友達の作品や、作業中の様子などの、自分が気づいた『ナイスポイント!』を伝えましょう。」

4 SDGsで目指す姿

 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。</p> <p>自分で作った作品に愛着を持ち、大切に長く使うようになることをとおして、身の回りにあるものも同じように大切に使う姿。</p>
---	---	---

準備物



マイ箸づくりセット
(箸・サンドペーパー)
ナイフ 糸のこ 新聞紙 ごみ袋

準備

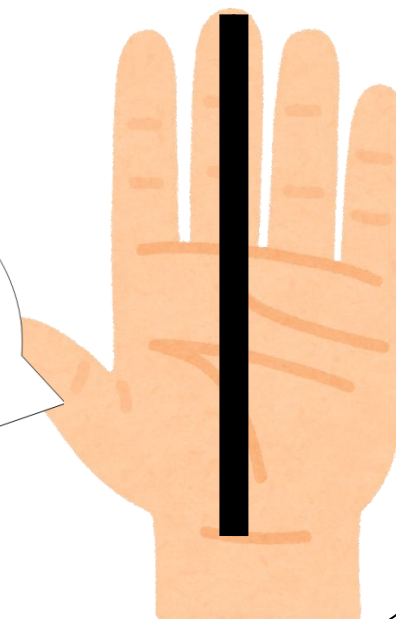
- ①机に新聞紙を敷く。
- ②サンドペーパーをそれぞれ半分に切る。
(1本分ずつ使います)

- ① 糸のこで、自分の手にあった長さに切る。

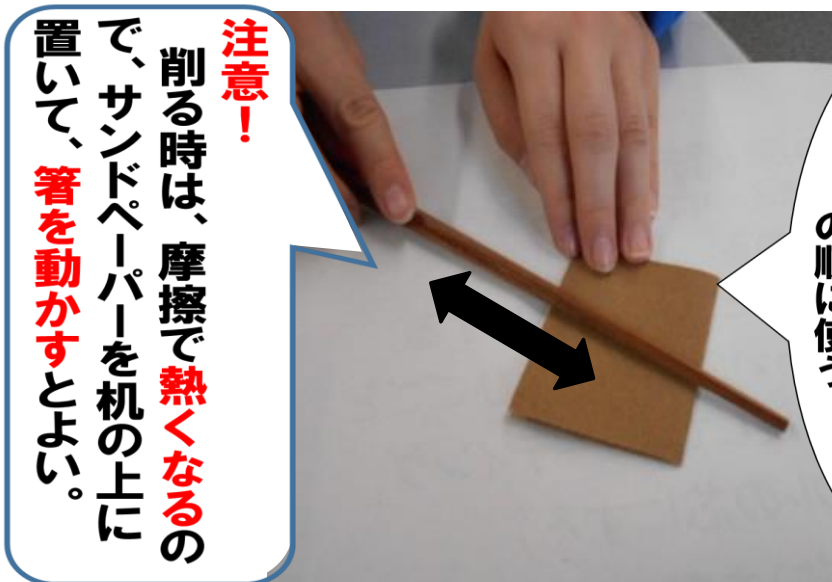


【ポイント】

手首から中指の先までの長さが最適と考えられています。



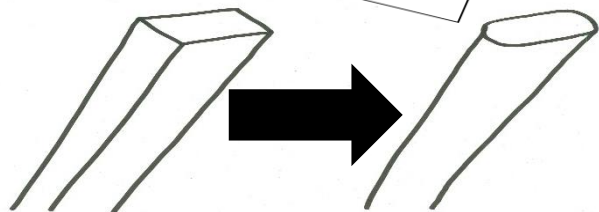
② サンドペーパーやナイフを使って丸みを持たせたい部分をけずる。



サンドペーパーは目のあらい方(こい茶色)の細かい方(茶色)の順に使う。

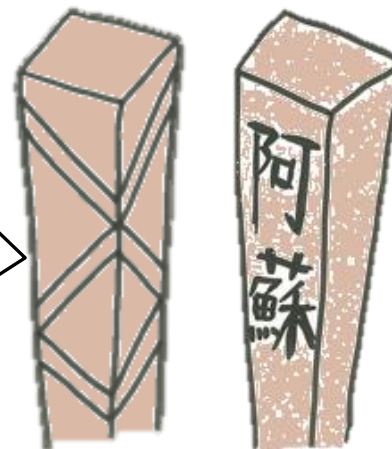
【ポイント】

角がなくなると使いやすいといわれている。



③ 時間に余裕があれば、
もよう模様やすべり止めをつける

模様



名前や
イニシャル

すべり止め



先端を六角形にする
職人も...

